

厚生労働省発薬食第 1107070 号  
平成 20 年 11 月 7 日

薬事・食品衛生審議会会長  
望月 正隆 殿

厚生労働大臣 梶添 要一

## 諮 問 書

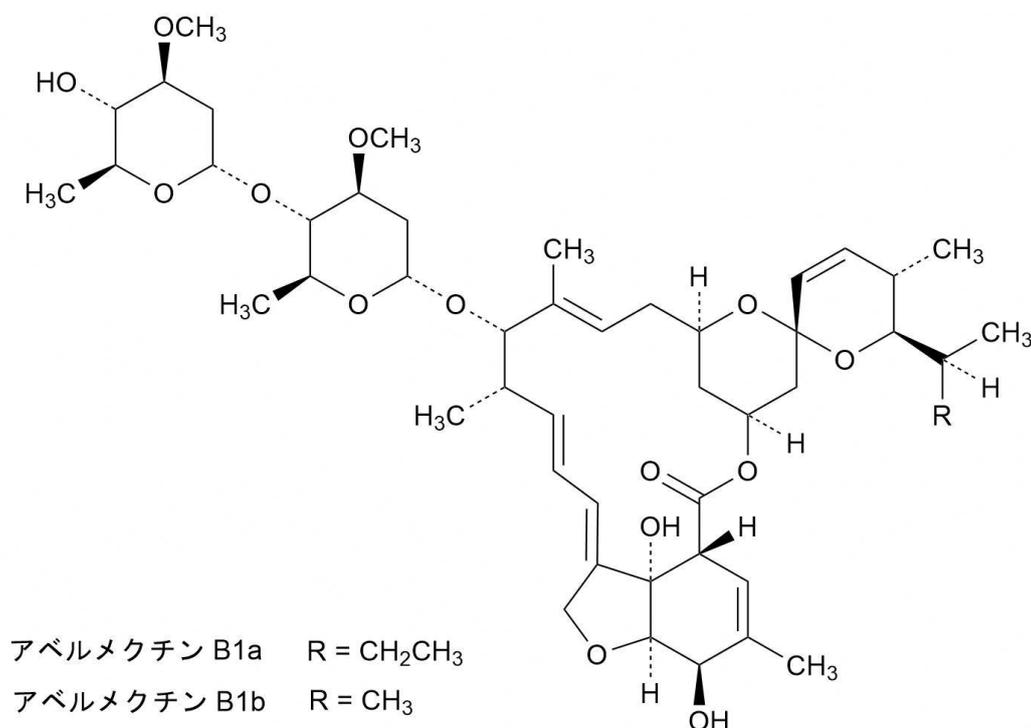
下記の事項について、毒物及び劇物取締法（昭和 25 年法律第 303 号）第 23 条の 2 の規定に基づき、貴会の意見を求めます。

### 記

アバメクチン及びこれを含有する製剤（ただし、アバメクチン 1.8%以下を含有するものを除く。）の毒物及び劇物取締法に基づく毒物の指定並びにアバメクチン 1.8%以下を含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく劇物の指定について



アバメクチン及びこれを含有する製剤（ただし、アバメクチン1.8%以下を含有するものを除く。）の毒物及び劇物取締法に基づく毒物の指定並びにアバメクチン1.8%以下を含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく劇物の指定について



C<sub>48</sub>H<sub>72</sub>O<sub>14</sub> (アベルメクチン B1a)、C<sub>47</sub>H<sub>70</sub>O<sub>14</sub> (アベルメクチン B1b) の  
 CAS No. : 71751-41-2 (アベルメクチン B1a 及び B1b の混合物)、  
 65195-55-3 (アベルメクチン B1a)、65195-56-4 (アベルメクチン B1b)

名称 (英語名) Abamectin  
 (日本語名) アバメクチン

#### 経緯

上記化学物質は、現在、毒物又は劇物に指定されていないが、今般、事業者より、農薬登録申請に基づき、原体及び1.8%製剤の毒性データが提出され、別添の結果が得られた。

#### 用途

農薬 (殺虫・殺ダニ剤)

#### 物理的・化学的性質

別添1を参照

## 毒性

別添 2 を参照

## 事務局案

アバメクチン及びこれを含有する製剤（ただし、アバメクチン 1.8%以下を含有するものを除く。）は、「毒物」に指定し、アバメクチン 1.8%以下を含有する製剤は、「劇物」に指定することが適当である。

【別添 1】

物理的・化学的性質（原体）

項目	
名称	(英語名) Abamectin (日本語名) アバメクチン
CAS 番号	71751-41-2 (アベルメクチン B1a 及び B1b の混合物)、65195-55-3 (アベルメクチン B1a)、65195-56-4 (アベルメクチン B1b)
化学式	C <sub>48</sub> H <sub>72</sub> O <sub>14</sub> (アベルメクチン B1a)、C <sub>47</sub> H <sub>70</sub> O <sub>14</sub> (アベルメクチン B1b)
分子量	873.07 (アベルメクチン B1a)、859.05 (アベルメクチン B1b)
物理化学的性状	
外観	類白色結晶性粉末 (25℃)
沸点	測定不能 (融点で分解)
融点	161.8～169.4℃
密度	1.18±0.02 g/cm <sup>3</sup> (22℃)
相対蒸気密度	—
蒸気圧	< 3.7×10 <sup>-6</sup> Pa (25℃)
溶解性	水 : 1.21±0.15×10 <sup>-3</sup> g/L (25℃)、 オクタノール / 水 分配係数 (log P) : 4.4±0.3 (pH7.2±0.1)
引火性及び発火性	—
安定性・反応性	安定性 : 室温～150℃まで安定。 反応性 : —
換算係数	—
国連(UN)番号	—
国連危険物輸送分類	—
EC / Index 番号	— / 606-143-00-0
EU-Annex I 分類	Acute Tox. 1 (H330 : Fatal if inhaled), Acute Tox. 2 (H300 : Fatal if swallowed), Repr. 2, STOT RE 1, Aquatic Acute 1, Aquatic Chronic 1.

【別添 2】

毒性（原体）

試験の種類	供試動物等	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	<u>LD<sub>50</sub> : ♂ 232 mg/kg、♀ 214 mg/kg</u>	US EPA OPPTS 870.1100 GLP 準拠
	ラット	<u>LD<sub>50</sub> : ♂ 8.7 mg/kg、♀ 12.8 mg/kg</u>	GLP 準拠
急性経皮毒性	ラット	LD <sub>50</sub> : ♂, ♀ >330 mg/kg	GLP 準拠
急性経皮毒性 (ダスト)	ラット	<u>LC<sub>50</sub> : ♂ &gt;0.051 mg/L/4hr、♀ &gt;0.034 mg/L/4hr</u>	OECD TG 403, * 1, US EPA OPPTS 870.1300*2, * 3 GLP 準拠
刺激性	ウサギ	皮膚腐食性 : ♂, ♀ なし	GLP 準拠
	ウサギ	眼刺激性 : ♂, ♀ 軽度の刺激性	GLP 準拠

\* 1 : 委員会指令 (92/69/EEC, OJEC, L383A, B.2, 117-120, 1992 (1993 年 4 月改正 (17 回目)) で公表された危険物質の分類、包装及びラベル表示に関する法律、規制及び行政命令の統一化に関する理事会指令 67/548/EEC への補遺 V (OJEC L110 1993 年 5 月 20~21 日 急性毒性吸入)

\* 2 : 米国環境保護庁の健康影響試験ガイドライン、870.1300 (1998) : 急性吸入毒性試験

\* 3 : 本試験は、農薬の毒性学的検査に関する勧告 (Gaitonde; India) にも従った。

毒性 (1.8%製剤)

試験の種類	供試動物等	試験結果	備考
急性経口毒性 (2.0%)	ラット	LD <sub>50</sub> : ♀ 891 mg/kg	US EPA OPPTS 870.1100 GLP 準拠
急性経皮毒性 (1.82%)	ラット	LD <sub>50</sub> : ♂, ♀ >5,050 mg/kg	US EPA OPPTS 870.1200 GLP 準拠
急性経皮毒性 (1.82%) (ミスト)	ラット	LC <sub>50</sub> : ♂, ♀ >5.04 mg/L/4hr	OECD TG 403, US EPA OPPTS 870.1300, 59 農蚕第 4200 号 GLP 準拠
刺激性 (2.0%)	ウサギ	皮膚腐食性 : ♂, ♀ なし	US EPA OPPTS 870.2500 GLP 準拠
” (2.0%)	ウサギ	眼刺激性 : ♂, ♀ 中等度の刺激性	US EPA OPPTS 870.2400 GLP 準拠